

# 2015（平成 27）年度 東北福祉大学 通信教育部

## スクーリング・アンケート自由記述（抜粋）

紙数の関係でごく一部のみしか掲載できませんでした。

ここにあげたもの以外にも多くのご感想・ご意見をいただき、ありがとうございます。

（目次）	共通基礎科目・その他の選択科目……………	p. 1
	社会福祉士指定科目……………	p. 5
	精神保健福祉士指定科目……………	p. 10
	心理系専門科目……………	p. 11
	教職系科目・幼保特例講座科目……………	p. 16
	オンデマンド・スクーリング開講科目……………	p. 19

### 共通基礎科目・その他の選択科目

#### ●ボランティア論

- ・ボランティアについて全く無理解だったが、いろいろなボランティアについて知ることができた。今後更に理解できるよう、実際にボランティアに参加してみたいと思った。
- ・実際に先生が活動された経験について、悩んだことや反省点などをお話して下さったことで、誰でもいろいろ考えながら、立ち止まりながら自身の感情と向き合いながら、活動していくのだなと学びました。

#### ●科学的な見方・考え方

- ・本当に早めに受講しておけば良かったと痛感しています。今まで提出したレポートがどれも「総合学習」のまとめになっていました。今回学んだものは、仕事でもすぐに活かせる、説得力ある資料や提案書が作れそうです。自分の言いたいこと、意見を、エビデンスに基づいて言語化、文章化する術を基本から教えていただいたと思います。
- ・今後のレポート作成に良い影響をいただく授業でした。

#### ●情報処理 I

- ・ワードはある程度使うことができたのですが、エクセルは表の作成程度で関数は全く使えなかったもので、今回の講義のおかげでエクセルがより使えるようになりました。

### ●福祉と経済

- ・福祉は財源の多くを税により賄われていることなど、福祉と経済の結びつきを理解できました。自分は経済において何ができるか？考えたり、想像したり…これまでとは違う学習の仕方を発見できたように思います。まずは、新聞やインターネットの経済欄を見ることから始めます。

### ●人間と教育

- ・教育の歴史や各国の取り組み、また子どもがどうとらえられていたのかについて知って、より深く理解することができました。教科書を読むだけではなかなか理解できなかったのですが、講義に参加して自然に教科書が読めるようになりました。3日間ではありますが、充実した講義でした。

### ●コミュニケーション英語

- ・英語は特に興味のあるもので、とても楽しく表現し、まるで英語が話せるような感覚になりました。リラックスした雰囲気英語を話させる工夫がされ、間違えても先生が真剣に理解しようとして下さったお陰で、間違いを怖がらずに発言できるようになりました。とても楽しいスクーリングでした。

### ●スポーツ（バーンゴルフ）

- ・バーンゴルフについて知識がなかったが、プレーをやるにつれて自然と夢中になっている自分に驚きました。また、皆さんと協力し合い声を掛け合って交流がもてたことがよかったと思いました。

### ●特講（現代社会論）

- ・世間を騒がす様々な事件は実は個人的な理由に加え、社会的背景による時代の流れが大きく関与しているという視点に驚きました。今まで触れることのなかった社会学について初めて理解する機会となりました。先生の熱意に感謝いたします。

### ●社会福祉の基礎

- ・制度そのものの暗記的な理解ではなく、歴史を学ぶことを通じて社会福祉の本質を教えてください、勉強になりました。ソーシャルワークがミクロからマクロへの円環的連続体であり、ミクロな問題が、ソーシャルアクションや政策提言などのより上位の問題により規定されており、そのマクロレベルの解決、働きがけが大切だということに大変共感を覚えました。

### ●基礎演習

- ・レポートをまとめる手順、コツを知ることができました。グループワークで他の学生と交流が持ててよかったと思います。

### ●知的障害者福祉論

- ・障害者福祉制度全般の改正が近年著しく、その法制度や実施体制など実務上憤りすら感じていた内容について、力強く雄弁に語ってくださり、大変参考になりました。もっと勉強を進めようと感じました。

### ●ケアマネジメント論

- ・ケアマネジメントは、高齢者だけではなく福祉に関わる全ての部門で共通することがわかり、有意義な講義であった。
- ・ターミナルケアについての情報が興味深かった。DVD内でケアマネさんの力を見た気がした。

### ●NPO論

- ・NPOとボランティアの区別が具体的事例でよくわかった。NPOといえども私たちにしたら利益目的と思う事業を展開している団体もあるまで、今回の講義の中でどのように考えたらよいか理解することができた。また、震災の寄付金がどのような形で使われているのか知る機会となった。

### ●リハビリテーション論

- ・障害者の心理的適応モデルの中で、不安・怒り・否認・期待・失望・うつ・再体制化・適応の部分がループしていくという説明を聴き、援助者はクライアントに寄り添い、未来に目を向けながら援助をしていかなければならないと考えさせられた。
- ・リハビリテーションと聴くと、身体的機能回復アプローチと見がちでいたが、リハビリテーションの歴史から学び、医学、職業、社会、教育リハビリテーションがあるということがよく理解できた。同時に看護師として、専門職とよい人間関係と連携でチームアプローチを、患者や利用者へしていく必要性を学んだ。

### ●家族法

- ・法律は言葉が難しくて苦手な分野でしたが、先生の丁寧な説明で少し分かるようになったと思います。福祉分野で働いていると親族法はとても役立ちます。勉強になりました。

### ●社会福祉法制

- ・福祉法学や他の科目で学んできたことをさらに掘り下げて、経緯から学ぶことができました。

た。社会福祉士として働くには知識として使えるようにしなければならないのだと実感しました。

#### ●人的資源論

- ・人材育成ということに興味を持っていたため、産業・組織と人間問題という部分はとても学びが深まりました。
- ・教科書に載っている流儀通りではなく、実際問題を取りあげて話を下さったのでためになりました。

#### ●特講・社会福祉学 1（介護保険と社会福祉士の課題）

- ・改めてソーシャルワークの仕事の大切さや難しさを認識しました。自分が良かれと思って行ったことでも、相手を傷つけてしまうこともあることや、さまざまな専門職の価値などを把握しておく必要があることを実感させられました。

#### ●特講・社会福祉学 10（スクールソーシャルワーク論）

- ・先生がSSWとして関わった事例を沢山聞く事ができ、自分がSSWとして働いた場合、どのように関わったらよいか、とても具体的にイメージすることができた。
- ・オンデマンドでは感じられない先生の声聴きたくて受講しました。先生の取り組みや事例を通して、これからの自身の仕事(支援)のヒントを沢山得られました。まだまだ諦めずに勉強していきたいと思います。

#### ●特講・社会福祉学 13（福祉産業論）

- ・介護を含む福祉を産業の視点を持って考察することが大切であることが、よく理解できた。社会情勢の変化やトピックスなど、色々と織り交ぜて説明して下さいりわかり易かった。試験問題として挙げられた課題について、じっくりと考えてみたいと思います。

#### ●特講・社会福祉学 18（生活困窮者自立支援の実際）

- ・今回、初めてグループワークを体験しました。また、現場で働いている方のディスカッションもあり、いろいろな人の考えを聞くことができた。相談支援ということについて、考えることができた時間でした。

#### ●特講・社会福祉学 7（精神保健福祉士国家試験対策講座B）

- ・過去問を繰り返し解くことや、あと103日間ですべきこと、さらに受験当日の心構えまで具体的に教えて下さり、気が引き締まりました。問題の答えの解説の合間に先生の実際の職場での体験談もお聞きして、大変勉強になり楽しい授業でした。

## 社会福祉士指定科目（精神保健福祉士との共通科目含む）

### ●社会福祉原論（職業指導も含む）

- ・先生の知識あふれる講義に毎コマ感動しました。社会福祉の原論を学んだだけではなく、自分自身の持つ人生観まで深く考えさせられました。また、歴史を様々な角度、視点から見ることによって、見えてくる日本国の体質や性質の違い、伝えられている事実と隠された真実などとても興味深い講義でした。
- ・配布資料が分かりやすくまとめられており、歴史が苦手な私でも頭の中で整理して理解することができました。

### ●地域福祉論

- ・今日的な課題と事例を交えながら教えていただき、地域福祉が現在どのように進められているのか、どのような課題があるのかよく分かりました。
- ・世界各国の地域福祉の現状や課題を知りたいと思いました。出稼ぎ労働者や難民、イスラム諸国の紛争やテロなどの国際問題と地域福祉との関連性や課題について興味が湧きました。

### ●社会保障論

- ・生活に直結する事から、今まで何となくしか理解できなかったところが明確になりました。また、様々な制度が絡み合って社会保障は成り立っているのだと思うと同時に、地域と民間が連携して、足りない所をおぎなえる社会に少しでも近づく為に福祉があるのだと思いました。
- ・社会保障の理解にとどまらず、社会が抱える問題を分かりやすく講義しようという先生の熱意が感じられる内容でした。自宅でしっかりと復習しレポート課題に取り組みたいと思います。

### ●公的扶助論

- ・ホームレスの自立支援プログラムについて考えさせられました。仕事に就き、住む家が与えられるということは、世間一般からみれば「良かった」とされがちですが、簡単にそうとは言えないということが分かりました。人は人とコミュニケーションをとりながら、心を通い合わせる事が大事なのだと改めて思いました。
- ・生活保護は「権利」だということ。日ごろ業務で生活保護を受けたほうがいいと思う対象者がいたとしても、実際にその相手に伝えるとき、「それはまだ早い」「嫌だ」と答えられる方が多い。そのような気持ちを受け止めた上で、より良い、現実的な方法をともに模索していくことが必要なのだと感じた。

### ●福祉法学

- ・講義の内容が教科書に即しており、とても分かりやすかった。先生の説明における「例え」が的を射ていると思いました。
- ・福祉法学というあまり関心のない科目のように感じていたが、実は現代において最も重要なことであると認識させられました。

### ●福祉心理学

- ・心理学と聞くと難しいイメージを持っていたが、行動には理由があること、それを観察し理解していくことが大切であるとあらためて考えさせられました。また、先生の「行動に無意味はない」という言葉が心に響きました。
- ・福祉心理学の「人々がその人なりに幸福に生きる」ことを目指す上で、必要な学問であることがわかった。

### ●福祉社会学

- ・社会問題を掘り下げ、私たちが普段生活をしていたら触れることができない、表面的ではない真実や真理を教えてください、とても勉強になりました。また、人間が生きる上で本当に必要なこととは何か、社会学的な視点から教えてください、社会への見方が変わりました。
- ・初めてのスクーリング参加で緊張しましたが、他の学生さんと直接お話ができたことで、情報交換や勉強する上での悩みなど共有することができ、今後の学習へのモチベーションが上がりました。今後もできるだけスクーリングに参加したいと思います。

### ●医学一般

- ・受験対策についても丁寧にご指導いただきました。改めてがんばろうと思います。医学的知識は「何故そうなるのか」を考えるとぐっと身近な知識として理解できるようになる。とてもためになった授業でした。
- ・資料が充実していたので、教科書を読んでも理解できなかった部分など分かりやすく理解ができた。またこの資料で国試対策にも非常に役立つと感じた。

### ●福祉行財政と福祉計画（福祉計画法）

- ・福祉の財政については量が膨大でしたが、先生の話し方のテンポと工夫で、とても頭に入りやすかったです。福祉という人の幸せのためにどれだけ税金が使われているか、その仕組みについて学習でき、今まで勉強してきたことに対しての裏づけともなる学習でした。重要な点を強調して説明していただき、参加してよかったです。

### ●障害者福祉論

- ・教科書の制度や歴史のみではなく、障がい当事者目線の具体的話や、参考文献の活用が様々あり、たくさん気づきがありよかった。バリアフリーに関する問題提起の写真事例は考えさせられた。
- ・先生の偏りや押し付けのない説明により、広くテーマを見ることができた気がする。自然と障碍について考えることができた。グループワークで色々な考えを聞いたこともとてもよかった。

### ●保健医療サービス論

- ・高額医療費の制度などこれまで知らずにいた制度について、専門職としてのみならず、生活していく上でとても役立つ知識を得ることができました。

### ●社会福祉援助技術総論

- ・これまで公的扶助の現業員などを経験し、ソーシャルワークについても独学で勉強しましたが、やはり体系的に学習すると、勉強が足りなかったことがよく分かりました。大学への入学を機会にこれからは、本物のソーシャルワーカーを目指して、学習を深めたいと思います。

### ●社会福祉援助技術論A

- ・実践例を多く紹介してもらい、テキストには載っていない「生」のソーシャルワーカーのやるべきことや現状がわかり、今後の勉強の励みになりました。また、より社会福祉士の資格取得に意欲が湧いてきました。

### ●社会福祉援助技術論B

- ・先生の事例を通した話を聞いて、世の中目の届きにくい場所で何が起きているかを理解しやすかったです。その上でソーシャルワークにおいて本来あるべき支援とはどのようなものなのかを考える良い機会となりました。

### ●福祉経営論（福祉施設管理論）

- ・自分が働いていた職場がどのような法人でどのような事業を行っているのか今まで詳しく知りませんでしたが、今回スクーリングを受けてきちんと把握しなければと反省しました。自分が暮らす地域にはどのような法人があって、どのような事業を行っているか今後調べてみようと思います。

## ●社会調査の基礎（社会福祉援助技術論Ⅱ）

- ・調査をする以前に、問題意識や目的を明確にすることの大切さがわかった。テキストよりもわかりやすく、先生自身の体験も交えて「社会調査」の重要性、社会福祉との関連性を講義してもらったので興味深かった。

## ●高齢者福祉論

- ・高齢者福祉には関わりがなく、介護というイメージを持っているだけでした。今回講義を受けてみて、認知症の方の尊厳とは何か、高齢者福祉は介護することではなく、自分たちの持つ力を発揮しながら自立して生活していくこと、今後の問題等視点が深まりました。
- ・高齢社会の実態を数値的な根拠が示されたことで、より具体的なイメージとスピーディーな政策展開が求められている現況を理解することができた。また、「老いを学ぶことは人生のよりよい実践のために必要」という先生の言葉は、今後の仕事に対する新しい動機付けとなりました。

## ●介護概論

- ・介護の仕事を普段行っていますが、改めて「介護とは?」「生活援助とは?」など考察することができたように思う。「社会福祉士」となってからも、深く学んでいかなければならない内容であり経験をさらに積んでいかなければならないと思いました。

## ●児童（・家庭）福祉論

- ・児童施設での経験談、事例を交えた講義内容でした。児童虐待、施設内虐待、職員の資質についてなど、現状をふまえた課題を考えさせられました。専門職としての知識、技術の修得は常に必要だということも改めて感じた。
- ・虐待に関するDVDは衝撃的でしたが、現実を知ることができるよい機会でした。見たくない、知りたくない事柄から逃げている自覚が生まれ、社会福祉を学ぶ姿勢を考え直すきっかけとなりました。

## ●更生保護制度論

- ・受講前は更生保護制度論にあまり興味がなく、なぜ学ばなくてはいけないのかよく分かりませんでした。現代の犯罪の内容が大きく変わり、特に高齢者の犯罪が増え、社会福祉の関わりが必要になっていることに気づかせていただきました。福祉の深さを知り、学びの追求につなげていきたいと思える講義でした。

## ●就労支援サービス論

- ・その人のやりたいことや興味を持てること、そして、才能を活かした就労支援をしていかななくてはならないと感じました。現在ある制度に合わせていくだけではなく、SWIにとっ

て社会資源の開発や改良も大きな役割だと改めて考えることができました。

- ・ 障害者に対しての接し方、捉え方など、以前ほかの教科で学んだはずだが、再び考えさせられた。就労支援以前に基本の部分を、また思い出させてもらった気がしました。

#### ●社会福祉援助技術演習A・I

- ・ 多くの経験、視野の広さが対象者と関わる上では必要であること。その人が知り得る言葉で語りかけることの大切さを学びました。感性を磨くことが今後の学びの中で必要だと強く感じました。

#### ●社会福祉援助技術演習B・II

- ・ 先生の「資格のために勉強するのではない」という言葉が印象的でした。勉強は資格を取った後も継続しなければ、本当の社会福祉士ではないのではないかと考えさせられました。

#### ●社会福祉援助技術演習C

- ・ 社会福祉士として、自分が今関わっている分野以外の分野についてももっと勉強していく必要があると感じました。

#### ●社会福祉援助技術実習指導A

- ・ 実習に臨む上で踏まえるべきことについて、具体的に理解できた。実習計画案作成のポイントについて確認できしっかり実践に繋がられるようにしていきたいと改めて感じた。

#### ●社会福祉援助技術実習指導B-1+演習C-1

- ・ ジェネラリストソーシャルワーカーになるということはどのようなことかを再確認できました。また、実習に行くという意味、社会福祉士にあるべき姿を自分の中で考えさせられました。国家資格を持つにあたっては、それに見合う人として恥ずかしくない姿でならないと強く思いました。

#### ●社会福祉援助技術実習指導B-3+演習C-2

- ・ 他の学生が実習先で行った報告を聞いて、各分野での社会福祉士の役割について理解が深まった。

## 精神保健福祉士指定科目（社会福祉士との共通科目を除く）

### ●精神医学

- ・精神科の医師という立場の先生による、精神保健福祉の歴史、ソーシャルワーカーの役割、地域精神医療の歴史、神経学会の話などは新鮮さがありました。今まで批判的だった、知らなかったところも学べ、それらについて考えるきっかけを得られました。

### ●精神保健福祉援助技術総論Ⅰ（精神保健福祉援助技術総論・前半）

- ・ソーシャルワークの独自性である自己決定の原則では、精神保健福祉の歴史が大きく影響していることを学びました。そして、ワーカーの役割と機能は多岐に及んでいること、さまざまな施策の中で求められるものも多く、幅広い知識や見聞が必要であることを理解することができました。

### ●精神保健福祉援助技術総論Ⅱ（精神保健福祉援助技術総論・後半）

- ・先生の講義はご自身の経験に基づく深みがあるものでした。まだ自分は現場経験が多くないので、色々なところへ出向き、色々な声を聞いてみたいと思いました。
- ・映像資料を使用した授業は分かりやすかったです。精神障害者の現状がよく分かる資料でした。

### ●精神保健福祉援助技術各論

- ・グループを組んでインタビュー面接を交代でやったとき、私はとても早口で相手が話し終わると、すぐに次の質問をしてしまう傾向にあることに気がつきました。自分の話し方や「待つ」ということが苦手なところを改善していけないとわかりました。

### ●精神科リハビリテーション学

- ・精神保健福祉士になりたいと漠然と考えていたが、人の人生に深くかかわっていき、そして方向性を一緒に考え実践していくのだと思うと、責任のある資格者なのだと思えさせられました。
- ・科目の内容について教科書に書かれていることだけではなく、先生のこれまでの体験されてきた精神保健福祉(精神医療)の歴史、経緯から分かりやすい言葉で教えていただいたことが良かった。より深い学びができました。

### ●精神保健福祉のサービス（精神保健福祉論Ⅱ）

- ・精神障害者が日本でどのように考えられ、処遇されてきたのかが理解できた。また、未だに差別や偏見にさらされている現実を他の障害と比較しながら考えることができた。欧

米の在院日数と日本のそれとの差に驚くとともに、政策としてなんとかしなくてはならないのではと思った。

#### ●精神保健福祉の制度（精神保健福祉論Ⅲ）

- ・先生のスクーリングはいつも分かりやすいです。法学の先生だと思っていたのですが、教育学の視点の暖かさを感じ、とても理解が深まりました。
- ・自分に内在する犯罪者の蔑視に気づいた。これでは精神疾患を持つ人々を差別の目で見ると人間と同じではないかと思う。今後は罪を犯す人間の心理にも目を向けていきたい。

## 心理系専門科目

#### ●心理学概論

- ・フロイトの発達論について、本を読むだけでは漠然としていたが、先生の投げかけによりはっきりとポイントをとらえることができました。「パブロフの犬」の古典的条件づけを態度形成に応用することができるのは新しい発見でした。自身でこのように上手に応用していけたら良いなと思いました。先生の心の構造の図が分かりやすかったです。
- ・子育て中なので、スクーリング前から発達心理学を学びたいと思っていました。実際まだわからないこともたくさんありますが、今回のスクーリングで少し学べ、もっと深く知りたいという気持ちが強くなりました。

#### ●福祉心理学

- ・福祉心理学がまだ新しい学問であり、まだまだ成熟していない点について大変興味を持ちました。社会福祉学と心理学の基礎的なことと、それらを日常において応用して重ね合わせていくこと、心理学の奥深さを改めて実感しました。
- ・普段あまり意識しませんが、「人間心理」に当たり前に関わっていることに改めて気づかされました。人は心の塊なのだ…と感じ、人の心理や行動は良い意味で面白いと非常に惹きつけられました。

#### ●心理学実験Ⅰ

- ・全ての実験において、考察するほど新たなことが見えてきて、とても充実していました。
- ・実験ということで、とても厳密なものであると想像していましたが、わかりやすい内容でした。先生方の説明も、項目ごとに要点を教えてください、時間内にしっかりと考えることができました。

### ●心理学実験Ⅱ

- ・実験者、被験者双方の経験ができ、実験を行うにあたっては様々なことに配慮する必要があること、被験者には時に心身の負担が伴う可能性があることを実感できました。

### ●心理学研究法Ⅱ

- ・レポートを書いている時などは、あまり理解できていなかった部分が、先生の授業を受けたことで理解できるようになった。

### ●社会心理学

- ・相手を知ることは自分自身をよく知らなければならない。自分のことは自分しかわからないのに、自分を知ることが難しいと思った。自分自身のものの見方、見解、行動の限界を知らなければ、日常の対人関係はもちろん対人支援もできることではないと感じた。
- ・同調行動は普段の生活の中でも、つつい周囲や相手に合わせる事が一番よいし楽だと思っているが、自分の意見として答えを持つことが大事であるとVTRを見ていて考えさせられた。

### ●家族心理学

- ・家族システムとして捉えることで、抱える課題への介入方法も多様であると分かりました。
- ・家族システムの知識は、ソーシャルワークに欠かせない視点だと痛感した。表面化した個の問題ばかりでなく、システムの中に関連を見出すことで被援助者家族の幸せにつながる道が開けると考える。

### ●人間関係論

- ・拒絶感受性、ソーシャルサポートの功罪など仕事で使える事を沢山学ばせていただきました。褒めて自己肯定感をUPさせると思っていたのですが、褒めることも考えて行わないと、相手に葛藤が生まれるということを学べてよかったです。
- ・排斥についての講義はとても興味深かったです。「嫌な人」と思われている人が、どうしてそう思われるのか、また、なぜそう思われる行動をするのかなど、様々な要素が絡んでいることを知りました。自分にもそういう所があると思うので、それを心に留めて人と関わりたいと学んだ。

### ●環境心理学

- ・家の中でも職場においても、作業がはかどらないことを、自分の能力や性格が原因と思っていましたが、環境にも目を向け整えることで、もしかしたらよい結果につながるかもしれ

れないと希望がわきました。

#### ●生涯発達心理学

- ・心理学を学んで人を理解する力を身につけ、更にそれを人のために使うことが望ましいと先生はお話されました。老年期を充実したものにするには、それまでの積み重ねが影響することを学び、今後の人との関わりを通じて、どう自分が役に立てるのか、改めて考える機会を頂けたと感じます。

#### ●児童青年心理学

- ・今までは直感的にとらえていた青年期を論理的に考えることができ、更に学びたくなりました。青年期を迎え悩んでいる当事者に対してはもちろん、身近にいる青年期の人と向き合いながら悩んでいる人のことを少し変わった見方で捉えられるようになったような気がします。

#### ●老年心理学

- ・近い将来やってくる親の介護の問題や自分の老年期に対してどのように自己実現しながら進んでいくことができるのかを考えることができました。これまで経験したことは理解できても、自分が経験していないことを理解することはとても難しいと思うので、学びから少しでも理解していくことが大切だと思いました。

#### ●教育心理学

- ・教育、人に教えるということ、導くお手伝いをすることに対応する考え方をより深く、幅広くすることを学びました。その人の人生にかかわる仕事に従事しているので、今回更に学ぶこと教育の大切さを考えさせられました。
- ・教育とは相手の可能性を拓げることだという先生のお言葉が印象的でした。先生の教育熱が感じられてよかった。

#### ●障害児の心理

- ・障害についての知識を深めることができました。大切なことは「障害」に目を向けるのではなく、「その子ども」に目を向けることだということが分かりました。その子が社会で、障害をうまく付き合いながら生き生きと生活できるような配慮ができる人間になりたいと思います。
- ・難しい内容もわかり易い例をあげて理解を促す配慮が感じられる講義でした。1番心に残り、考えさせられた言葉は「今できることを一生懸命やるように仕向けるようにすることが教育であり、保育であり、育児である」。これからの育児に役立てていきたいと思いません。

### ●心理アセスメント

- ・講義はとても分かりやすく、楽しく受けることができた。事前学習不足があり、準備していたらより学習が深められることができたのではないかと思う。
- ・心理アセスメントについては全く知識もなく、どのようにすればよいのか全く分かっていなかったが、スクーリングに出席し、臨床心理に日々携わる先生から直接講義を受け、アセスメントの重要性を理解することができた。知識不足も痛感し勉強への意欲も湧いたので講義を受けてよかったと思う。

### ●臨床心理学

- ・臨床心理学という名前だけで私は病院や病気などに関わっているという曖昧な学習意欲を持って受けていたスクーリングでしたが、わかり易い先生の説明や実践の現場にいる先生からの授業、事例などが効果的に挙げられていたので、スクーリングを受けて学習意欲を高めることができたと思う。

### ●心理療法

- ・資料に書かれていない補足情報を加えてくださり、理解が深まりました。映像も効果的に使われていてとても楽しいスクーリングでした。また、ロールプレイにおいて、様々な人たちと関わったり、実際に体験したりすることができ、知識が深まりました。

### ●カウンセリングⅠ

- ・「カウンセリング」とは何か、自分がどのように学習に取り組むのかを考えることができました。また、日本のカウンセリングと臨床心理が混ざっていることや今後の潮流、考え決めるべきことへのアドバイスを教示していただきよかったです。
- ・カウンセラーの仕事に興味はありましたが、授業を聞いて受容や共感などの聞く姿勢はもちろんのこと、相手としっかり向き合うことや、上手くいかないときの工夫の仕方など様々な角度からカウンセリングを考えることが重要であることを学びました。

### ●カウンセリングⅡ

- ・カウンセリングを行うのに、初回面接の大切さが良く理解できた。クライアントの言葉を繰り返すことは、ただオウム返しをしているだけではなく、クライアントの言葉を最大限に尊重していることがよく分かった。

### ●産業カウンセリングⅠ

- ・産業カウンセラーは企業との連携が土台にあるので、カウンセラー個人としての立ち振る

舞いでは成り立たないということ。利益を視点としている企業の一員となる必要性を感じました。

### ●産業カウンセリングⅡ

- ・カウンセリングの具体的な流れについて学ぶことができてよかったです。カウンセリングの中で、カウンセラーは「誠実さ、温かさ、安心感」の3つの雰囲気をつくるのが根本的に大事ということを学びました。

### ●カウンセリング演習Ⅰ

- ・カウンセラー、クライアントの両方の立場を経験し、それぞれに大変な点を感じることができた。答えが一つではなく、色々な視点から考察していく大切さも感じた。

### ●カウンセリング演習Ⅱ

- ・友人から相談されるとつい指示やアドバイスをしたくなるが、カウンセリングは相談者自らが自分の力で答えを出していく、そのためにカウンセラーはお手伝いをするのであるが、ロールプレーインを通じて、その難しさを感じました。一歩引く事が大切であることを感じました。

### ●学習心理学

- ・技能の学習に興味があったので詳しく取り上げていただいてとても良かった。記憶と関係する脳の部位のお話や、社会的学習理論についても分かりやすく説明していただいて充実したスクーリングでした。

### ●特講・福祉心理学1（表情の心理学）

- ・以前から表情について興味をもっていたので今回の授業を楽しみにしていました。私が思っているよりも内容が深く、多くの研究者が人間の感情や表情について研究されていることがわかりました。また表情の研究が、警察やNASAに活用されていることを初めて知り、とても興味深いと思いました。

### ●特講・福祉心理学8（ストレスとつきあう心理学）

- ・講義中行われたチェックリストから、自分の物事に対する捉え方の特徴をつかめた。自分の苛立ちは自分が起こしていることがわかった。自分を理解し自分を見つめることで、自分を思えるようになる。そうしたことができて、誰かを思う手段を手にするということに気がつけた。自分のストレスを自己分析する癖をつけていきたい。

●特講・福祉心理学9（コミュニティ心理学）

- ・従来の心理療法とはずいぶん違った考え方で、とても興味深く学ぶことができた。従来の心理療法は役立ったのかという反省から生まれた学問であり、応用も利きとても面白いと思った。軽快なフットワーク、綿密なネットワークと少々のヘッドワークは覚えておこうと思いました。
- ・コミュニティ心理学は「コンサルティな問題を解決する力を最もよく知っているし、解決する力、強さ、資源を持っている」など相談援助の利用者に対する見方と共通する部分が沢山あることに気づきましたもっと理解を深めたいと思います。

●特講・福祉心理学12（犯罪心理学）

- ・最近も、理解し難い事件が後を絶たず、そのバックボーンについて考える幅が広がりました。加害者について報道で流される情報だけでなく、個人や環境、様々な要因まで見ようとする目をもっていきたいです。

## 教職系科目・幼保特例講座科目

●介護技術

- ・学問としての「福祉」には、レポート学習などの自己の学習などで、その形は見えてきていましたが、いざ理論と実践を結びつけるのは日々介護の仕事などでは難しかったです。そういう意味でも、身体を使った介護技術のスクーリングはとても身になった気がします。やればやるほど、自分がいかに技術不足であるかわかったし、もっと上手になりたい、そう思えるスクーリングでした。

●介護実習事前（・事後）指導

- ・各特別支援学校での様子をビデオで見ることができ、実習に向けての心構えができた。普通校での教職経験しかないが、今回のスクーリングでの内容を生かして実習に臨みたい。
- ・指導案の書き方など、具体的に教えていただきとてもためになった。もっと色々な指導案をみて参考にしていきたいと思った。

### ●障害者教育総論

- ・特別支援教育の最近の流れ（合理的配慮・教育支援など）や将来を見通した指導・支援など、具体的に話を聞くことができ良かった。

### ●肢体不自由教育

- ・先生の講義を通して、運動の方向性についてよく理解できました。どの部位がどのようにコントロールできないかを理解していないと、援助や支援が本当に必要なところ、どこに課題があるのかを誤るおそれがあるな、と思いました。与えるのではなく、子どもが主体になるような支援ができるようになりたいです。
- ・先生が障がい児の教育に熱意を持って取り組まれていらっしゃる事が講義を通じて感じられ、教員として私の心に響く言葉がたくさんありました。生徒たちの可能性をもっと信じて、それを引き出せるような教員でありたいと思いました。

### ●知的障害教育

- ・レポート課題を見て、テキストでの自己学習ではレポート作成は難しく感じ、スクーリングを受講しました。期待通りの講義内容で、わざわざ仙台まで来たか良かったと感じています。この講義を踏まえてレポート作成に励みたいと思います。

### ●視覚障害教育総論

- ・視覚障害教育の実際について先生の実践の紹介、DVD、資料等でよく理解できました。また、点字の演習等により支援学校の教育のすばらしさが分かりました。
- ・視覚障害教育はとても深いことが分かりました。基本から教材研究まで実践として活かせることから応用できることまで深い学びとなった。

### ●重複障害教育総論

- ・実際の現場での教育についてなどの説明の際、先生の気持ちがこもっていて、とても分かりやすかった障害児だけでなく、子どもの教育全体に関わる内容であり、とてもためになった。

### ●発達障害者の心理

- ・発達障害についての知識・理解が大変深まりました。人は何らかの困難を抱えており、障害があってもなくても、お互いがその困難を補う役割を持てれば、生活しやすい社会になると思いました。
- ・障害の疑似体験や絵などの資料による例えが分かりやすく、障害を持つ子どもの困り感を感じ取ることができました。

### ●発達障害教育総論

- ・今まで LD について具体的にわからなかったが、事例を出して教えていただき、実際に自分も Ray の複雑図形のテストを受けてみて、どの程度なのかを考えることができました。ことばの指導の必要性がわかってもっと勉強したくなりました。

### ●自閉症教育総論

- ・事例が具体的で、示された数の根拠なども教えていただくことができ、とても参考になりました。穏やかな話され方はとても安心できました。「ADL の向上が QOL の低下につながる」というお話は心に染みて、関わる時間にどうしても差が出てしまうけれど自立度の高い方への対応もおろそかにできないと改めて思いました。

### ●障害者（児）教育実習の事前・事後指導

- ・指導案の書き方など、具体的に教えていただきとてもためになった。もっと色々な指導案をみて参考にしていきたいと思った。
- ・スクーリング前は実習に対して不安でしたが、多くの励ましのお言葉をいただき、前向きに考えることができました。

### ●特別支援教育支援員概論

- ・体位交換や車椅子操作の練習があって、教科書だけでは学べないことをたくさん学べた。これまで今まで学んだことがなかった盲学校の授業風景を VTR で見ることができ、参考になった。また、受講生の中で発達障害のあるお子さんをお持ちのかたもいて、保護者としての思いを聞くことができ良かった。

### ●相談支援

- ・自宅でひとりテキストを読みながら学習するものとは比べ物にならないくらい勉強になりました。改めてスクーリングに参加して本当に良かったと思います。

### ●乳児保育

- ・テキストやプリントだけでなく、DVD を利用したことにより、事例を分かりやすく理解することができた。また、それについて先生から解説がありとても分かりやすかった。強く関心を持った点は、人の発達には臨界期という時期があるということ。乳児に基本的信頼の構築ができなければ、次の自律性を獲得できないなど…保育士の役割や責任の重要性、重さを改めて感じた。
- ・先生の医療の視点からのお話、母親としてのご経験からのお話、とても分かりやすく勉強になりました。グループワークで他の学生さんたちとお話できたのも良かったです。

# オンデマンド・スクーリング開講科目

(平成27年度以降に講義を収録しなおした科目を中心に掲載しています)

## ● 法の基礎（日本国憲法を含む）

- ・ 学ぶ目的は何か、それは学んだことを人の幸せのために使うことであると先生は言われました。先生の言葉は重みのある言葉として私の心にストンと落ちました。これからの人生において大きな示唆をいただきました。ありがとうございました。
- ・ 菅原先生の授業は他にも受けたのですが、常に繰り返して重要なことを説明し、書いて頂けるのでとても理解しやすいです。日本国憲法と聞くとどうしても難しいイメージでしたので不安でしたが、憲法の解釈や判例を使って説明して頂けるのでとても有難いです。
- ・ 普段から関心を持って書籍、新聞等に目を通し、意識を高めておくことが大事だと思いました。できればもっと時間を取って学習に取り組みたかったです。

## ● 地域福祉論

- ・ 今回の講義を受けて、地域の福祉計画や活動に参加する人は、自立した元気な地域住民や福祉関係者であるため、最も視点をおかなければならない障害者や高齢者等の立場で検討するには、日々の実態把握がとても重要であること。さらに、地域福祉の理念に則った具体的な支援活動をすることの難しさを改めて感じた。
- ・ 社会福祉協議会と民生委員の関係について歴史的背景から知ることができ、とても勉強になった。他の科目（例えば社会福祉原論やNPO論）で学ぶ内容についても、それと結び付けた講義がされていて、なるほどと思う点がたくさんあった。

## ● 社会保障論

- ・ 社会保障全般を、なんとなく理解していたのが、枠組みが分かりとても良かった。年金や介護保険など、今後もっと考えていかななくてはならないと思う。
- ・ 自分自身に関わることながら、ほとんど知識がなかったということがわかった。それがわかるとともに、新しい知識が得られたということが、大きな収穫である。
- ・ 社会保障については幅が非常に広くどこまでという線引きが出来ないと感じた。しかし講義の中で、医療、保険、介護などそれぞれの内容が重なり合い、連携しあう中で制度を深く知り利用できる、していく仕組みが理解できた。最後に生活そのものが、社会保障であるということが先生の講義で理解できた。

## ● 公的扶助論

- ・ 生活保護制度の原則や原理、基本的な仕組みが理解できたことで制度に対する見方や考え方が変わった。
- ・ 貧困問題の深刻さを感じた。急激な少子高齢化が進み、ますます単身独居の高齢者が増加することにより、貧困者も増えてくることが予想される。その支援対策が必要であると感じた。生活保護のあり方を社会全体で考えることで、要保護者が受けやすいように社会が変わっていくことを望む。
- ・ 公的扶助について、また、その中の生活保護について深く学ぶことで社会の貧困層の方々へ、どのような支援や対応をしていけばよいのか、私たち一人一人が考えなければならぬと実感した。

## ● 福祉法学

- ・ 私は法学については、無学で今後の国試のことも考慮すると、今後苦手にはいけない科目に思っておりました。しかしオンデマンドで福祉法学を学ばせていただき、今までの「法学」=「難しい」ではなく、「法学」=「役立つ」、生きている学問であると感じました。エホバの証人輸血拒否の裁判について、最高裁の判決が「人格権の一内容として尊重されなければならない」という判決に、とても納得でき、差異を認め合う社会の構築の大切さを学びました。
- ・ 憲法第13条における、個人の尊重、幸福追求権において先生の講話を聴き、改めて個人の幸せの価値観を尊重することの大切さを感じさせられた。必ずしも自分と同じ価値観ではないこと、押し付けてはいけないことを肝に銘じたいと思う。
- ・ 地域で福祉活動をしており、法律や成年後見人を学ぶべきと感じていたので、大変関心を持っていました。4年分の授業内容を数時間で学習するには難しい内容だと思います。ただ学びたいとの意欲は深まりましたので、受講内容を参考に自主学習をしたいと思います。先生の講義は、大変理解しやすいと思います。ありがとうございました。

## ● 福祉行財政と福祉計画（福祉計画法）

- ・ 今回の講義で、生活に密着した密着した内容であり、仕組みを理解することで日本で生活を送るにあたり、より良い社会にしていくために、どのように働きかけをしていったらよいかという事がわかりました。ただ闇雲に行政に訴えてもそれぞれの役割があるために、遠回りしてしまう状況があることを確認することができた。今後も福祉に携わる仕事をしていくうえで、興味関心を常に持っていきたい分野である。
- ・ 福祉サービスをより良く利用するために何が必要か、また、生活する地域の実情を理解するうえで必要な事柄についてアンテナを張っておくことが大切だと考えさ

せられました。

- ・ 国の財源や歳出についての内訳を分かりやすく説明して下さったので、とても理解が深まりました。福祉に関する社会保障費を含め、今後とも国の財政について注目していきたいと思います。

### ● 障害者福祉論

- ・ ピア・カウンセリングについて考えさせられた。私自身、精神障がい者として生きる中で、ピア・サポーターというものに強く心を惹かれ、資格取得を志したのだが、横山先生が言われた、ピア・カウンセリングのメリット・デメリットというものは、確かにあると思った。また、精神障がい者というのは、私が認識していたよりも、世間の風当たりが強いのだということがわかった。
- ・ 講義レジュメに太宰治の書簡が紹介されていました。内容的には、一見すると障害者福祉に関係なく見えますが、人々の心のあり方というような社会の基本となるものを考えるよい”きっかけ”になるものでした。これを機に、文学のような一見福祉とは直接関係ないと思える領域にも気を付けていきたいと思います。障害者は何か特別な人というイメージがあったが、そういった気持ちが障害を作っているのかも、と考えさせられた講義でとても勉強になりました。

### ● 保健医療サービス論

- ・ 身近である保健医療であるが、実際のところ仕組みやどういった基準で病院が定められているかなど知らなかったので勉強になった。
- ・ 患者の移送費用に関する制度の利用について初めて知った。なぜなら、病院から転院調整を行う場合、当院の車を使っていたが、数が多すぎて間に合わない場合がある。しかしその制度を利用することで、患者、病院双方にメリットがあると思う。さらにこの件に関して深く理解するために復習中です。
- ・ 自身が身近に関わっていることであり、受講することにより良い理解が深まりました。もう少し自身で予習時間をとる必要があった科目であることを感じました。復習に重点をおき覚えていきたいと思います。

### ● 社会福祉援助技術総論

- ・ 社会福祉士とはどのような経緯で創設された資格かということがわかりました。何のために社会福祉士の資格取得を目指すのか、思いを新たにしましたところ。
- ・ 今回の講義を受講し、佐藤先生のお話の中で、「明日は自分が利用者になるかもしれない」の言葉が印象に残りました。自分自身や家族に、病気、離職、自然災害等、日常生活に問題が発生することを想像し、利用者側の視点でイメージすると、ソーシャルワークの展開過程の重要性が理解できるように思います。社会福祉士の倫

理綱領、行動規範についても熟知できるよう、普段関わっている職場や身内にも意識して取り入れたいと考えています。

### ● 社会福祉援助技術論 A・B

- ・ 理想としていた社会福祉士像と現実は違うものなのかと考えさせられた。しかし、より社会福祉士の魅力を感じ自分もその職に就けるよう頑張ろうと思った。
- ・ 先生の人間性に興味を持った。共感できる部分や疑問に思っている部分に触れる講義で、また考え方も自分もある程度そういう考え方に近づけたらと思えた。
- ・ 仕事を続けていくうえで、スーパーバイザーをどのようにして探したらよいのかと思っていましたが、先生方にお問い合わせすることも可能と知り、心強いです。講義の中で紹介された文献を読み、考えを深めたいです。
- ・ 相談援助技術の知識をしっかりと身につけて、さらに先行研究、文献にふれ、理解を深めていきたいと思いました。
- ・ ソーシャルワークとは何か、改めて考える機会を頂いた。

### ● 社会調査の基礎

- ・ 社会調査は福祉において重要であることを理解したが、労力や時間を費やすことから、福祉の現場ではどこまで範囲で社会調査を行うことができるのか、実際どれくらいの規模の社会調査を行っているのか、とても興味を持った。
- ・ 社会調査が私たちのあらゆるものの基礎的な情報として、仕組み作りや制度などに反映されていることが解り、とても重要な分野であると思いました。私たちの生活に密接に関係しているとも言えると思います。難しい授業ではありますが、オンデマンドなので何度も繰り返し学習することでより理解を深められたような気がします。ありがとうございました。

### ● 福祉経営論（福祉施設管理論）

- ・ 私は、認知症高齢者グループホームにて8年間勤務、10月より特別養護老人ホームに配属となり、改めて利用者様のニーズの違いに気が付きました。このたび福祉サービスの組織と経営について学ぶことができ、特に福祉経営は一般の会社経営のようにお金を上手に回していかなければ成り立たないのだらうと思いました。経営理念も大切ですが、より良いサービスの質の向上の為には職員の福利厚生と研修も不可欠だと思いました。リーダーシップとは、必ずしも先頭に立ち組織を引っ張っていく立場の人が行うのではなくその立場に無い人でもなり得るとの話がとても興味深いと感じた。

## ● 更生保護制度論

- ・ 近年の少年事件に「誰でもよかった」とか「むしゃくしゃして」という言葉があり、生育環境に同情しながらも「やるせない」思いをしていた。しかし、高齢者犯罪の背景に「孤独」や「甘え」という点があり、自分にも全くないとは言い切れなかったと感じた。自己責任では解決できない人間の弱い部分を、社会全体で再取り込みをしていく必要があると痛感した。
- ・ 私は保護司をしております。授業で先生が言われていたように専門的な知識はありませんでした。定期的に研修を受け、毎月送られてくる冊子等で学んでいるというのが現状です。ですので「更生保護制度論」については大変関心が深く必要性を感じていました。通信教育で3年近く福祉を学んできたお陰で少なからず福祉の知識を得るようになり、保護司にはこのような視点が必要であることを実感しています。社会福祉士の役割は大変重要であり、活動は広範囲であり、益々社会に求められていることでしょう。私も社会福祉士という立場から更生保護に関わりたいという思いを深くしました。

## ● 就労支援サービス論

- ・ 就労支援が、就労することが目的とならないようにし、環境を整えることが重要であるということが、とても心に残った。
- ・ 就労支援の視点が変わりました。特に障害者の就労支援においては、ダイバシティ重視で、社会生活においてさまざまな人がいる事が前提となり、実はさまざまな人が集まった組織は強い（マイクロソフト）との先生の講義にとっても興味が沸きました。講義で学んだ、障害を多様性だと捉えることや、就労支援にあたり、自立支援の捉え方の視点を見失わないように学んだ者として発信していけるよう実践に結び付けて行きたいと思いました。
- ・ 就労したくてもできない理由に環境要因が強く影響している。私たちが、このような社会に対して何ができるのかわからない。しかしながら働くことで生きがいや喜びを感じることができると考えられる。障害者だけでなく、私の身の回りにおいても悩まされる問題であると感じる。

## ● 精神保健福祉の制度（精神保健福祉論Ⅲ）

- ・ 医療観察制度について知らなかったので、講義である程度理解できてよかった。
- ・ 法制度についてとても興味を持つことができ、今後さらに学びを深めていきたいと思いました。

## ● 発達障害者の地域支援

- ・ 現在障害者福祉サービスに携わっている私が日々抱いていた疑問、「日中一時支援」では利用する方たちにただ危険がないよう、ケガのないようにという配慮だけで良いのかということも取り上げられていてとても興味深かった。講義を受けたうえで仕事を通して、自分の支援の方向性を今一度見直すきっかけとなった。今まで感じてはいたが、自分だけで考えても会社は変わらないと諦め半分だったが、三浦先生の講義内容に「自分で主体的に関わる」ということを学び、自分が動かなければ何も変わらないのだと痛感した。
- ・ 発達障害についてほとんど知識がないところから今回受講しましたが、障害特性ばかりに着目して捉えていたので、「発達障害は特別ではない、私たちと同じ人間なのだ」という言葉に考えさせられました。障害者支援という枠組みを取り払った支援システムづくりについて、どうしたら実現できるか、もっと学びと経験を深めようと思いました。
- ・ 今までの自分の持っていた発達障害者の方に対する考え方に変化が生まれました。人によって障害となる壁を作られてしまい、生きづらくなることにより障害が新たに発生する。そのことに対して、人間としての障害者を受け入れることについて考えさせられました。

## ● 家族法

- ・ 被虐待児や被後見人等、弱者に対しての現状には様々な問題があり、年々法的な改正が行われているということに関心をもった。財産を持っている認知症の高齢者に対する横領の問題や被虐待児の家庭における複雑な事情等の現場の情報を学び法的、福祉的な解決策の困難さを思い知った。
- ・ 最近、話題になっている夫婦別姓制度のあり方や被虐待児の法的救済、成年後見制度など常に時事問題に対してアンテナを張っていく必要があると感じた。

## ● 学習心理学

- ・ 何気ない日常の様々な場面の中で、条件付けは行われている。また、仕事上の報告や連絡を行う上で、忘れないようにメモを取る場面は多々あり、記憶について、自然と工夫しながら業務を行っている。馴染みが薄い言葉もあるが、内容としては生活に密接しているため、大変興味深く受講する事が出来た。
- ・ 動物も人間も同じようなことが起きていることが面白いと思いました。「生物学的制約」では、人間は空を飛ぶことや水中で生きることを「学習」できないのだなと思ひ、それぞれの違いについて考えさせられました。それは、人間と人間でもみんな違いがあるのだなと深く思いました。どうもありがとうございました。

● 特講・福祉心理学4（スクール・カウンセリング）

- ・ 常々スクールカウンセラーは学校に常駐させるべきだと思っていましたが、外部性のある存在であるからこそ出来る事もたくさんあるのだと今回のスクーリングを受講して考えさせられました。私は心理学科ではないのでカウンセラー志望ではないですが、コミュニティ心理学の概念はソーシャルワーカーの仕事にも応用できそうだと感じました。大変有意義な講義をありがとうございました。
- ・ スクール・カウンセリングとスクール・ソーシャルワーカーの違いを知るために、今回受講しました。スクール・カウンセリングでは、主に生徒中心のカウンセリングで対応していると感じました。今後も学校ではスクールカウンセラーが必要な仕事だと理解しました。